



TITLE:

お知らせ

AUTHOR(S):

改發, 香塙

---

CITATION:

改發, 香塙. お知らせ. 天界 1929, 10(105): 62-62

ISSUE DATE:

1929-11-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161491>

RIGHT:

ばならない。人生は争鬭である。昔は群と群が争つた、その前には人々が争つたに違いない。次には城と城が、次には國と國、遂に國家と國家が争つた、現今がそうである。これを引延ばすに其の次には洲と洲の争ひになる、現今其の兆がある。次にはさうなる。近い所で火星が相手だ。月は家來である。地球の行く方についてくるから問題にならない。所が火星は大敵である。じつとしてゐれば地球を攻め取りに来るかも知れない。

宇宙は新陳代謝をする。古生代に驚くべき隆盛を極めたものが中生代には亡んでゐる。さしに地球を我が物顔にしたであらう爬虫類も現代ははじめのものである。亡んだものの中からでも秀れたものは生残つてゐる。人類も高等なものが生存權をもつ。火星は地球よりもづつこさめてゐる。つまり新生代の次の次の代位である。だから、自然は脱線がきらいだ。すると、地球の生物が例外でない以上、順當に進んで火星にも哺乳類が發達したとしても差支へあるまい。すると、火星の人類は隆盛を極めてしまつて現在に在るにしても極く少數に違いない。文化は極度に發達してゐても。が、しかし、次のX類が現れて、より秀れたものだつたら？ まだ地球を攻めにこないから大したものはないと見ていゝ。星そのものも亡びつゝあるのだから。それで、地球が攻めてゆくに亡びつゝあるものは敗けるに決つてゐる。敗かして見た所でこつちもやがて亡んでゆく。まづ百年や千年の話でないから御心配に及ばない。だが人類は永久に榮えたいものだ。

冬の夜空はきれいだである。英雄オリオンの光が美しい。研ぎすました鎌のやうな月が枯木の枝にかゝつてゐる。寂しして一聲もない。

（一九二九、一）

## お 知 ら せ

今後、當支部例會は第二土曜日の夕食後早々（6時30分）に定めますから、左様御承知を願ひます。

天文同好會神戸支部幹事 改發香鳴